

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：平成30年12月10日

事業所名：プロップにしのみや

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 ○ 活動(課題と余暇)の内容に合わせてスペースを設定し、落ち着いた環境で各活動に取り組んで頂けるように配慮しています。	・保護者アンケートより(環境・体制整備①) ○(はい)87%	・今後も子どもたちが過ごしやすいスペースの確保に努めていきます。
	2	職員の適切な配置 ○ 法令で必要とされている基準配置人数に加え、加配職員として保育士又は児童指導員と指導員を2名以上(常勤換算による算定)しています。平成29年度、サービス提供時間(子どもたちのご利用時間)に1日平均6名(児童発達支援管理責任者を含む)を配置しました。	・保護者アンケートより(環境・体制整備②) ○(はい)84% ・最新の職員紹介(写真・名前・資格・プロフィール)があれば相談しやすいです。	・後日、最新の職員紹介をご報告させていただきます。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 ○ 視覚支援やレイアウトの見直しなど、ご利用者に合わせた環境設定をしています。2階のため、身体障害の方にはご不便をお掛けしますが、現在ご利用中の利用者には概ね問題ありません。	・保護者アンケートより(環境・体制整備③) ○(はい)90%	・今後も障害特性やお子さまに合わせた環境設定に努めていきます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 ○ ご利用前後に、掃除・除菌、子どもや活動に合わせた環境設定をし、清潔で心地よい空間の確保に努めています。	・保護者アンケートより(環境・体制整備④) ○(はい)87%	・今後もお子さま一人ひとりが快適で心地よく過ごせるように努めていきます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 ○ 職員で支援を振り返り、必要に応じて業務改善を行っています。不参加の職員に対しては、必ず報告書にて確認してもらうように努めています。	/	・今後も継続していきます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 ○ 平成30年12月、西宮市児童通所支援事業所の所属団体の皆様にご来所頂き、外部評価を実施しました。	/	・今後も継続し必要に応じて業務改善を図っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○ 職員研修規定に基づいて、事業所内研修(障害特性、具体的な支援技術、防災など)や外部研修(こども未来センター、西宮市児童通所支援事業所連絡会、兵庫県、関係事業所や団体などの主催)、施設見学などに参加しています。		・今後も積極的の研修に受講するなど、職員の資質向上に努めていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○ インフォーマルなアセスメント(オリジナルのアセスメントツール)を行って、お子さまの理解を深めるとともに、懇談で保護者様と一緒に課題を共有した上で個別支援計画を作成しています。	保護者アンケートより (適切な支援の提供①) お子さまと保護者のニーズや課題をよく理解した上で、個別支援計画を策定していますか？	・今後も継続していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○ 個々のニーズを大切にしながら、活動内容を検討し、個別活動や集団活動を実施しています。	○(はい) 100% (適切な支援の提供②) 個別支援計画には、子どもの必要な支援項目が適切に記載され、その上で、具体的な支援内容が設定されていますか？	・今後も継続していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○ 兵庫県の書式を参考に、発達支援や地域支援の項目にわけて、保護者様にわかりやすく具体的に記載するように努めています。	○(はい)100%	・今後も継続していきます。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○ 児童発達支援管理責任者と児童指導員(常勤)が中心に、個別支援の実施ができるように具体的な計画を策定し、全スタッフに周知した上で実施をしています。	保護者アンケートより (適切な支援の提供③)個別支援計画に沿った支援が行われていますか？	・今後も多くのスタッフの意見を取り入れながら実施していきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	○ 定期的なミーティングを通じて、プログラム案を作成しています。	○(はい)100%	・今後も継続していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○ 平日は集団活動と個別活動を中心に設定、休日や長期休暇は個別課題に加え、平日には実施ができない事業所外での活動なども取り入れています。	保護者アンケートより (適切な支援の提供④) 活動プログラムが固定化しないように工夫されていますか？	・今後も継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○ 新しい課題、地域活動や余暇活動、外出先などを取り入れて、固定化しないように工夫しています。		・今後も個々のニーズに対応できるように工夫していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○ 毎日、プログラム、スタッフの役割、注意事項などを確認しています。打ち合わせ不在職員でもわかるように予定表をノートに掲示して周知したり、常勤担当スタッフより直接伝達しています。		・今後も継続していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○ 送迎等で参加できるスタッフが少ない日は難しいですが、可能な限り実施しています。打ち合わせ内容は、報告書として記載し、全スタッフに周知できるようにしています。		・今後も継続していきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○ 日々サービス提供の記録を行い、プログラムや個別支援の検証や改善に繋がっています。		・今後も継続していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○ 常勤職員(児童発達支援管理責任者・児童指導員)が日々の様子を取りまとめ、定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。		・今後も6カ月毎を基本に必要なに応じて見直しを図ります。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	○ 児童発達支援管理責任者もしくは子どもと一番関わりが多い常勤スタッフが参加しています。		・今後も可能な限り参加できるようにしていきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	△ 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のあるお子さまは、現在利用しておりません		・必要な事例がでてきた場合に適切な判断をして対応させていただきます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○ 新1年生のご利用前には、カンファレンス等に参加し、就学前の事業所と情報交換を行っています。		・引き続き、連携を図っていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	△ カンファレンスなどに参加し、支援内容を情報提供するように努めています。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○ 今年度も、児童発達支援センター(こども未来センターや北山学園)が主催する研修に参加しました。		・今後も継続していきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	× 当事業所では、特色ある個々に合わせたサービス提供を行うことを目指しているため、本項目は実施していません。但し、外出時には地域の子どもたちが参加する場所に出掛けるなど、一緒に空間で過ごすことを心掛けています。	保護者アンケートより (適切な支援の提供⑤) ○(はい)16%	・現時点での取り組みを継続していきます。今後、ご希望があれば検討させていただきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	× 地域住民を招待するような行事は実施していません。		・現時点では、今後も予定しておりません。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○ 契約時や懇談時、送迎時などに説明させて頂いています。利用者負担等の変更については、書面にてご説明させて頂いております。個々の具体的なご質問があった場合には、その都度ご説明させて頂いています。	保護者アンケートより (保護者への説明等①) ○(はい)100%	・今後も継続していきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○ 原則、保護者懇談にて支援の経過をご報告し、今後の支援案をご説明をして協議しています。	保護者アンケートより (保護者への説明等②) ○(はい)100%	・今後も計画書に提示しながら、具体的にわかりやすいようにお伝えしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	△ 家庭での対応方法について、ご相談頂いたことは可能な限り情報提供を行っています。平成30年2月に、保護者様や関係機関を対象に研修会等を企画し、発達障害の理解と支援について学ぶ機会を実施しました。	保護者アンケートより (保護者への説明等③) ○(はい)65%	今まで同様、個別にご相談頂いたことは可能な限り対応させていただきます。事業所内で取り組んでいる支援でご家庭に般化できるような取り組みは、懇談時などで具体的にご報告させていただきました。また研修会の企画(不定期)やおすすめの文献・支援ツールなどご紹介し、一緒に理解を深め、お子さまへのよりよい支援を繋げていけたらと思います。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○ ご来所時、送迎時、懇談、連絡帳などで保護者様にご報告をし、共通理解を図れるように努めています。	保護者アンケートより (保護者への説明等④) ○(はい)94%	・今後も、より共通理解が図れるように努めていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○ ご相談を頂いたことは可能な限り助言等をさせていただきます。	保護者アンケートより (保護者への説明等⑤) ○(はい)94%	・今後も継続するとともに、相談しやすい環境作りに努めていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	× 保護者も一緒に参加できるようにプログラムは企画(茶話会)させていただきましたが、保護者会や保護者同士の連携支援は行っておりません。	保護者アンケートより (保護者への説明等⑥) ○(はい)6%	・今後、ご希望があれば父母の会や保護者会を検討させていただきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○ 事業所の入り口に、受付や解決責任者、連絡先等を掲示しております。苦情(その可能性がある場合を含む)があった場合には、マニュアルに基づいて調査をした上で、迅速かつ適切に対応に努めます。	保護者アンケートより (保護者への説明等⑦) ○(はい)77%	・今後、苦情・要望等がありましたら、迅速かつ真摯に対応します。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○ お子さまの状態や保護者様のご希望に合わせて、視覚支援(写真や動画、絵カード)を取り入れて、意思疎通や情報伝達を行っています。外国人の保護者様には、連絡帳などではひらがなやルビ打ちなどで対応させていただきます。	保護者アンケートより (保護者への説明等⑧) ○(はい)97%	・今後、ご希望に合わせて出来る限り対応させていただきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○ 定期的に会報(プロップだより)の発行や、行事予定、外出のしおりを発行し、ご案内させて頂きました。	保護者アンケートより(保護者への説明等⑨) ○(はい)100%	・今後も継続していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	○ 契約時、同意書にて説明と確認を行っています。また個人情報の記載された書類は、鍵付きキャビネットに保管しています。個人情報にアクセスできるパソコンはパスワードを設定しています。職員に対しても、入社時に個人情報の取り扱いについて説明を行い、同意書を取り交わしています。	保護者アンケートより(保護者への説明等⑨) ○(はい)97%	・今後も継続していきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	○ マニュアルを整備し、スタッフ間で供覧するとともに、ミーティングなどで周知しています。ご契約時には、緊急時と防犯時の対応はご連絡しています。感染症マニュアルは平成30年11月に保護者様に配布致しました。	保護者アンケートより(非常時の対応①) ○(はい)77%	今後もマニュアルの改訂等ございましたら、ご報告させていただきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	○ 今年度は7月に実施、冬に第2回目を実施する予定です。第1回目の実施については、会報誌(プロップだより)にてご報告させて頂きました。	保護者アンケートより(非常時の対応②) ○(はい)61%	今後も避難訓練等を実施しましたら、会報誌などでご報告させていただきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	○ 今年度は、西宮市児童通所支援事業所連絡会が主催する研修会に参加し、職員間で周知しました。		・今後も研修受講やミーティングなどで周知していきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	△ 身体拘束に関するマニュアルを整備しています。但し、身体拘束を行うようなケースは今まで一度もございません。		・身体拘束を行うようなケースがありましたら、きちんとご説明の上、支援計画にも記載させていただきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	△ 医師の指示のもと、保護者様からの報告に基づいて対応しています。全てのお子さまについて、アレルギーの有無を確認し、該当物質との接触がないように留意しています。		・今後も継続致します。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○ ヒヤリハット事例が起こった場合、報告書を作成し、職員間で留意しております。		今後も継続致します。